

# 会 議 記 録

下伊那南部建設事務所

件 名	第3回「遠山郷いい川づくり」推進会議	前回(第2回) 平成26年1月29日
年月日	平成26年6月25日(水) 18:30～20:00	
場所	飯田市南信濃自治振興センター	
出席者	「遠山郷いい川づくり」会議：委員：13名(欠席者9名) オブザーバー：2名(欠席者3名)  事務局：下伊那南部建設事務所 柳瀬所長、鈴木整備課長、木下整備第一係長、関主任、青森技師、高橋技師	
傍聴者他	別紙参加者一覧参照	
配付資料	別紙添付資料	
会議の主旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議の規約の改定について説明し、委員及びオブザーバーの方々に承認を得た。</li> <li>・H25年度の実施内容の報告、今後の予定について、及びH26年度の活動計画(案)の説明を行い、主に、推進会議として今後どのような取り組みを行うことができるのか、委員及びオブザーバーの方々から意見をいただいた。</li> </ul>	
打 合 せ 結 果  決定事項 検討事項 保留事項 等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 あいさつ                      〈「遠山郷いい川づくり」推進会議 会長 玉置 洋一〉                      ・いつも言っているが遠山川は地域の財産であるため、みんなで知恵を出し合って財産を守っていき                      たい。                      ・下伊那南部建設事務所には今年度もご指導をいただきたい。                      〈「遠山郷いい川づくり」推進会議 事務局長 柳瀬 勝弘〉</li> <li>2 進会議の規約の改定について〈玉置洋一・木下係長〉                      ・玉置会長より推進会議の規約について、委員に「まちづくり委員会 地域アドバイザー」を追加し                      た経緯について説明していただき、事務局より改定する規約(案)について説明し、委員及びオブザ                      ーバーの方々に承認をいただいた。(別紙 「遠山郷いい川づくり」推進会議 規約(案))</li> <li>3 平成25年度実施内容の報告について〈高橋技師〉                      ・平成26年3月5日に開催した現地見学(研修)とその後の工事完了までについて、平成26年3月                      10日に開催した河川愛護活動と同時期に実施した河川維持活動について写真を用いて報告。                      (別紙 資料)</li> <li>4 今後の予定について〈高橋技師〉                      ・今年度の工事の施工箇所、発注時期、施工期間等について、現地見学(研修)会の開催予定について                      説明。(別紙 資料)</li> <li>5 平成26年度の活動計画(案)について〈木下係長〉(別紙 資料)                      ・河川愛護活動、河川状況のモニタリング・施設等の点検をどのように行っていくのか、県が主体                      ではなくて、地域の皆様ができることを考えていきたい。                      ・河川愛護活動については、花火大会等のイベントとからめて今年度何ができるかを考えていき                      たい。                      ・モニタリング・施設等の点検については、川の形成の目的に対して効果が表れているのかの確認、                      造ったものが、壊れていないかの確認がある。我々は、出水時のピークの状況をリアルタイムで                      写真をとることは難しいし、今までの川の変化の経緯についても直接は携わっていない。地元の</li> </ol>	

皆様の強みは川の変化の様子をずっと見続けてきていることである。地域の皆様がどうい川であって欲しいのかという意識で川を見て、自分達でできる範囲のことを考えていただきたい。

そこで、昨年度完成した現場が、今年の出水期を経過した後どのようになっているのか、現場をみるのが良いのではと考えている。そういったことをやる中で場所を決めて写真を撮り続けて経年の変化を観察することもできるし、どこの部分に着目して観ていくのか話し合いをしていく中で、地元の皆様のできる範囲でやっていけることを詰めていければと考えている。

資料のとおりやるということではなく、自分たちで何をやるのかを決めていく上で、中学校横の現場を見ながら考えていければと思う。我々としては、地元としてやりたいと考えていることに対してバックアップしていきたいと考えている。

〈質問・意見・要望等〉

〈Q 意見〉 毎年7月中旬に和田橋北分館で自治振興センター下流左岸側の草刈り作業を行っており、花火大会の一週間前に祭典委員会(6自治会長が主体)を中心に枯草を燃やす作業を行っている。これらの作業と連携して愛護活動を行えばと思う。橋北分館の草刈り作業は任意で行っており、草刈り機の燃料と飲み物がでる程度である。年々高齢化が進んでいることから、参加者も減少してきているため、協力して作業ができればと思う。

〈Q 要望〉 中橋下流の帯工の工事について、今年度は半分だけ施工すると説明があったが、出水等により、半分だけできた構造物の流出が心配されるため、一濁水期で施工できるよう予算要望をしっかりとっていただきたい。

〈A 鈴木課長〉 BP等の交付金事業では億単位で予算がつくが、「信州のいい川づくり」モデル事業は県の単独事業であり、通常の県単河川事業では、以前も遠山川でフトン籠を積んでいたことがあるが、その程度の予算しかない。県単河川事業の中でも「信州のいい川づくり」モデル事業は県の肝入りの事業であるため、予算がついている方である。昨年度の遠山中学校横工区の工事も県単河川事業の中ではかなり大規模なものであった。我々も、途中まで作ったものが壊れてしまうということは避けたいので、年度の途中で補正予算があれば、できるだけ予算要望をしていきたい。また、予算が少なければ、できるだけ手戻りが生じないような順番を考えていきたい。予算はできるだけ確保していきたいと考えておりますのでご理解をいただきたい。

〈Q 要望〉 今年度の工事で、右岸側の川の中へ消防車両が下りていけるようにできないか? 現状では右岸側には消防車両は下りていけなくて、火事が起こった場合に、川から水を確保できない。今回の工事で消防車両が下りていけるようになれば、安全・確実に水を確保できるようになるがどうか?

〈A 高橋技師〉 右岸側へ消防車両が下りていけるようにということは以前より要望を頂いており、前回の推進会議でも進入路が下りにくい向きになっていると指摘をいただき、設計を修正した。今年度の工事は、優先順位として、まず河床低下対策として帯工の施工を考えている。今年度の工事で進入路を設置できるかどうかは検討したい。

〈Q 意見・要望〉 7月28日の飯田市の河川一斉清掃の折に、中橋下流で草刈りを行う。左岸側は大町地区の方々で行い、右岸側は夜川瀬地区の方々で行う。右岸側(かぐらの湯前)は親水護岸ができたときから7月末の日曜日に草刈りを行ってきている。また、今回の推進会議の河川愛護活動でよかったと思うことは、地域の方々ではできなかった、桜の移植ができたことである。従って、今後河川愛護団体として活動するときは、できれば移植に適した時期に活動をして、移植作業をしていただくとありがたい。モニタリングについては、河川モニターが南信濃地区にも何人かいる。河川モニターの方が、河川に異常をきたしていることを発見した場合は報告を行っている。そのため、その方々とタイアップして、事前に河川の状況をモニタリングしていただくようお願いして、推進会議で状況を報告していただければ、わざわざ新しいものをつくらなくても良いのではないかと。

〈A 鈴木課長〉 草刈りの時期は、それぞれの地区で草刈りが行われているようなので、この場では決

めれないが、自治振興センターや関係する地区の皆様と相談して、まとまって行ったりする等、具体的に詰めていきたい。

〈A 玉置会長〉 愛護活動の中で草刈りは取組みやすいため、各地区で行っている。関係する方々と調整して、皆で一緒にやろうよ、ということになれば、時間も短縮になったり、作業範囲も広げてできるため、良いことだと思う。この場でいつやるかということは決められないため、私どもの方で調整をかけたい。

〈A 鈴木課長〉 是非お願いしたい。  
河川モニターは県から依頼されており、何か困ることがあったら飯田市を通じて県へ報告を行うものである。(橋南地区で2人、八重河内地区で2人)河川全般というか地区の全般を観ていただいていると思う。作年度に造ったものも合わせてみていただくというのがお願いできれば、ご提案のようなこともできると思う。  
河川モニターについては飯田建設事務所の管理係からお願いしている話なので、管理係に確認して、自治振興センターとも連絡をとっていきたい。

〈Q 意見〉 6月12日に南アルプス地域がユネスコ・エコパークに登録された。自然と人間の共生ということで、遠山郷の地域もユネスコ・エコパークに入っている。自然と人間の共生の観点を川づくりにも活かせれば良いのではないかと。  
小道木の埋没林も大切にしていきたい。  
推進会議の規約にもエコパークを入れてはどうか。何かできるのではないかと。

〈A 鈴木課長〉 エコパークについては何ができるのかということと、どう活かしていけば良いのかということをお勉強してから組み入れていきたい。

〈A 玉置会長〉 この事業はハード事業とソフト事業がある。ハード事業を、先ほど意見があったように一生懸命予算をとっていただいて円滑に行うためには、車の両輪と同じで、もう一つは、ソフト事業も自分たちでしっかり取り組むという姿勢を出して頑張っていく必要があると思う。よいアイデアがあれば、また言ってもらって、相談しながら進めていくことが大切ではないかと思う。ご協力をお願いしたい。  
また、こうゆうことをして良かった、ということをお互いに確認して、今度はこうゆうことをしよう、とか、こうゆうことをして欲しい、ということが出てくるような、住民の方々の気運が高まっていくことを、推進会議で行ってきたい。

〈A 柳瀬所長〉 全てできるわけではないが、地域だけではできないことを、色々な団体や我々行政になげかけていただいて、こうやればもっといいんじゃないか、ということをお互いに、この推進会議という場で、みんなで知恵を出していきたい。道の駅があるので観光という切り口で考えれば、お客さんがこの地に訪れるようなこともできるし、我々は川だけでなく道路も行っているのだから、広く考えていければ良いと思う。建設事務所でこういうことはできないのかと、地域の皆様より意見を出していただいて、地域と行政が一体となって取り組んでいければ良いと思う。

〈A 鈴木課長〉 今年度から建設部長の提言の中に、信州のいい川づくりについても飯田市の要望として入っているので今後も応援をよろしくお願いしたい。

〈A 鈴木課長〉 ここまでの中でご意見やご要望をいただいた。今日結論とか具体的なところまではいかないが、会長さん等と今後の計画について相談させていただいて、具体的な形にしていきたいと思うのでよろしくお願いしたい。

## 6 その他

・ホームページへの公開について

ここまでの取り組みについて、ホームページで公開しているので是非ご覧いただきたい。

- ・長野県のスキルアップセミナーで遠山川の取り組みについて紹介したところ、優秀賞をいただき、よい取り組みの事例ということで引き続き中部地方整備局の技術発表会にも参加することになったことを報告。

〈Q その他要望〉 大町のマレットゴルフ場について、大雨が降って増水すると川の水がマレットゴルフ場へ流入してしまい、3日4日使用できなくなってしまうため、どうかしていただきたい。

〈A 鈴木課長〉 ご要望いただいた件は、現地を確認したが、どうゆう方法でやっていくかは現在検討中である。

〈A 柳瀬所長〉 洪水があって、河床レキが下流へ移動していることは間違いない。水道がどのようになっているのか現地を確認して、河床整理をするという対策が良いとは考えているが、最近では出水がなくて水道がどのように変化するのかわからない。出水後の水道の変化の様子を見て考えていきたい。

〈Q〉 飯島より下流がかなり河床が上がってきており、その影響で水がついてしまっていると思う。

〈A 柳瀬所長〉 昨日の漁協の総会でも同様な話が合って、飯島の取水口で発電が停止する事態にもなっている。河床が上がっていることは間違いない。

〈A 木下憲司氏〉 大町から2km先に飯島の放水路があり、布滝には河床が下がると言って帯工が1基入っているため、その影響があるのではと思う。それからマレットゴルフ場は遊水池という位置づけである。

〈Q〉 大勢に人が使用しているため、何とかしていただきたい。